

## 令和2年第9回教育委員会会議録

日 時	令和2年8月28日（金）13時30分開会 14時40分閉会
場 所	教育長室
出席委員	教育長 佐々木 智 委員 佐々木 義朗 委員 荒井 由紀恵 委員 橋場 正人 委員 吉村 恭子
欠席委員	—
事務局職員	教育部長 千田 義彦 教育部次長 村井 安之 教育部学校指導室長 椿野 次雄 企画総務課長 浅野 浩司 学校教育課長 高橋 裕輔 生涯学習課長 小野寺 康広 文化施設課長 北村 昌樹
書 記	企画総務課総務係長 阿部 健
議題及び 議事の概要	別紙のとおり

1 第9回教育委員会会議付議事件及び結果表

令和2年8月28日（金）13時30分開会  
14時40分閉会

事件番号	件名	議決結果
議案第1号	千歳市立学校の施設の開放に関する規則等の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第2号	令和3年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書等の採択について	原案可決
報告第1号	令和4年度以降の成人式「はたちのつどい」の対象年齢等について	報告済
報告第2号	地域学校協働活動の推進に向けた取組方針について	報告済

## 2 議題及び会議の概要

<p>教育長</p>	<p>(開会)</p> <p>令和2年第9回教育委員会会議を開催いたします。</p> <p>議案第2号は意思形成過程であるため、秘密会にしたいと考えますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように取り扱いたいと思います。</p> <p>日程2 会議録の承認について、お願いします。</p>
<p>総務係長</p>	<p>令和2年7月17日に開催されました令和2年第8回教育委員会会議は、議案が1件、報告が1件ございました。</p> <p>議案につきましては、議案第1号 令和2年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について、原案のとおりご決定いただいております。</p> <p>また、報告につきましては、報告第1号 令和元年度指定管理者モニタリング結果について、報告済みとさせていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教育長</p>	<p>会議録の承認の件は、よろしいでしょうか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>続きまして、日程3 教育長の報告です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関する報告について、前回会議の7月17日以降、千歳市内では自営業の方や自衛隊員、医療従事者など9例の発症事例がございました。児童生徒の感染者はありませんが、引き続き学校では感染対策を行ってまいります。</p> <p>夏季休業が短くなり10日間となりましたが、暑さ対策として各学校に扇風機を配備しました。夏休みが明けたここ数日も非常に暑い日が続きましたので、一定の効果が得られたと思っています。</p> <p>また、夏休み明けも学校において大きな混乱等は無い状況です。</p> <p>次に、8月の定例校長会でお話しさせていただいた事項について、報告させていただきます。</p> <p>(資料に沿って、次の内容について説明)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度全国学力・学習状況調査の有効活用について</li> <li>2. 学校指導室による学校訪問（一般訪問Ⅰ）について</li> <li>3. 令和2年度特別支援教育に関する学校巡回訪問結果から             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全教職員による特別支援教育推進体制の確立</li> <li>(2) 学校・保護者間の共通理解を進めイエローファイル作成率の向上</li> <li>(3) 特別支援教育支援員の活用と配置</li> <li>(4) 特別支援学級担当者会議の継続開催</li> </ol> </li> <li>4. 働き方改革について</li> </ol>

	<p>その他連絡事項は、記載のとおりです。</p> <p>私からの報告は以上でございます。何かご質問等はよろしいでしょうか。 (一同了承)</p> <p>それでは、日程4 議案に入ります。</p> <p>議案第1号 千歳市立学校の施設の開放に関する規則等の一部を改正する規則の制定について、事務局から説明をお願いします。</p>
企画総務課長	(千歳市立学校の施設の開放に関する規則等の一部を改正する規則の制定について、議案書に沿って説明)
教育長	ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
荒井委員	今までに実際に減免されなかった方は多かったのでしょうか。
企画総務課長	<p>昨年の利用実績を確認しましたところ、障がい者の団体に学校施設を利用した例が1例あり、そのうち6名が療育手帳所有者でしたが、北海道発行の手帳でした。中核市で発行された手帳の実績については確認できていませんが、それほど多い事例ではないのでおそらくはなかったものと推測しております。</p>
教育長	過去に事例があればその際に規則を改正しているはずなので、実例はなかったものと思われます。
荒井委員	今後はどこかのタイミングで周知をする予定はあるのですか。
企画総務課長	減免を受けられる方は手帳をお持ちいただきますので、その際に発行元を確認することとなり、今回の改正で全ての療育手帳が対象となりますので、改めて周知を行わなくても問題なく運用できるものと考えています。
教育長	<p>ほかはよろしいですか。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>続きまして、議案第2号 令和3年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書等の採択について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>&lt;秘密会につき会議録省略&gt;</p>

	<p>それでは提案どおり決定させていただきます。</p> <p>続きまして、日程5 報告に入ります。</p> <p>報告第1号 令和4年度以降の成人式「はたちのつどい」の対象年齢等について、説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	(令和4年度以降の成人式「はたちのつどい」の対象年齢等について、議案書に沿って説明)
教育長	ただいまの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
荒井委員	<p>式典をセンター試験の直前の1月に開催する時点で対象年齢を18歳にすることは難しいですね。</p> <p>(一同、賛同の声)</p>
教育長	ちなみに、来年1月の式典については今のところ実施する予定でおりますが、密を避けるため、二部構成にする方向で検討しているところです。
佐々木委員	どのような構成にするのですか。
生涯学習課長	<p>半々になるよう中学校区で分け、一部を13時頃から開催し、消毒後、二部を15時頃に開催するイメージです。</p> <p>そのほか、例年式典後に交流の場を設けていますが、密集してしまうので無くすなどの簡略化を検討しています。</p>
佐々木委員	東京にいる対象者が来られるかという問題もありますよね。
生涯学習課長	同時配信などのリモートによる参加ができるかについても検討しようと考えています。
荒井委員	去年は抽選会などの新しい企画もあったので残念ですね。
生涯学習課長	現在、ホールの中でソーシャルディスタンスを取りながら少しでも楽しめるような企画を、新成人のメンバーの方々が検討してくれているところです。
教育長	<p>ほかはよろしいですか。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは、これについては、報告済みといたします。</p>

	<p>続きまして、報告第2号 地域学校協働活動の推進に向けた取組方針について、事務局から説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(地域学校協働活動の推進に向けた取組方針について、議案書に沿って説明)</p>
教育長	<p>ただいまの説明について、ご質問等ありましたらお願いします。</p>
佐々木委員	<p>各地域に活動に関わることができる人材はいるのでしょうか。</p>
教育長	<p>生涯学習の取組やコミュニティスクールの実施などにより、地域における人材の発掘については一定程度進んでいると思います。</p>
佐々木委員	<p>学校と地域のコミュニケーションがどれだけ取れているか、学校の先生方と地域の町内会等とがどういった関わりを持っているか、ということが非常に重要であり、その強化を実践していかないと良い形になっていかないと      思います。      先生方も時間外勤務が増えている中で、こういったことも実施していかなければならないため、そこをどのようにサポートしていくかが大事だと思います。</p>
教育長	<p>学校と地域の双方のために実施するものなのですが、特に今年はコロナの関係で学校が非常に大変な中、コミュニティスクールを実施したりと、時間的余裕がない現状があります。教員の仕事の中で、地域との関わりというのは非常に大事なものですが、その時間が取れない。      一つの例として、ある学校では、働き方改革として改善できる業務を考えたときに「バザー」が候補に挙がり、学校によって運用形態は異なるのですが、その学校では準備等を教員がほとんど行っていたようで、PTAや地域と協働できないか協議を重ねた結果、行事をやめることとしたそうです。      このように、業務の見直し等を実践していかなければならない部分もあると思いますので、学校とも調整しながら進めていかなければならないと思っています。</p>
佐々木委員	<p>地域によって、地域の人たちが学校にどんどん入り込んでくれる地域とそうでない地域があると思いますが、各家庭レベルではなく地域全体が学校に入り込む必要があると思います。</p>
学校指導室長	<p>10年ほど前までは、学校が地域に協力してほしいことなどがあった際に</p>

	<p>は、教頭等が人材探しなど全てコーディネートしていたのですが、それを支援するために始まったのが地域支援本部であり、さらにそれを広めていこうと、地域の方から学校や子供たちの学びや育ちを支える形ができてきて、そして将来的にはコーディネーターが各校に在籍し、さらには、地域の高齢化が進む中でも、元気な方々の協力を得ることで地域の活性化も目指すのが地域学校協働活動の趣旨です。</p> <p>学校から地域に協力を求めるものは学校運営協議会であり、両方が交わっていけることが望ましい形かと思います。</p>
荒井委員	<p>地域コーディネーターは3人だが、今後増やす予定はありますか。</p>
生涯学習課長	<p>将来的には各校に配置できるのが理想形と考えていますが、現在は移行期であり、教育委員会にコーディネーターが3名在籍し、それぞれが数校を受け持っている状態です。</p> <p>また、例年はプール学習の授業支援をしていただいているのですが、コロナの影響で授業ができない状況ですので、学校において例年になく困り事などがあり、支援が可能なものがあれば支援していけるよう調査しているところです。</p>
佐々木委員	<p>学校区をまたいで担当することは考えられるのでしょうか。</p> <p>例えば、へき地校と市街地の学校を交えて実施するようなことはできないのでしょうか。</p>
生涯学習課長	<p>例えば、中学校区に一人を配置して一体的に担当したり、複数名でグループを作って担当するなど、様々な方法が考えられ、進んでいけばより良いやり方ができてくると思っています。</p> <p>また、校区のコーディネーターは確保しつつ、全市的なコーディネーターは教育委員会に残しますので、校区の中で人材の確保ができない場合などには連携により対応できると考えています。</p>
教育長	<p>ほかはよろしいですか。</p> <p>(一同「なし」の声)</p> <p>それでは、これについては、報告済みといたします。</p> <p>これもちまして、本日の教育委員会会議を終了します。</p> <p>(閉会)</p>